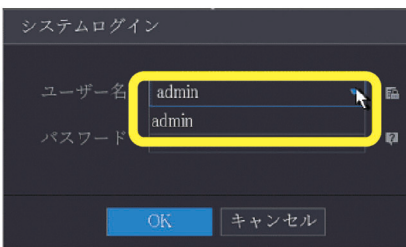
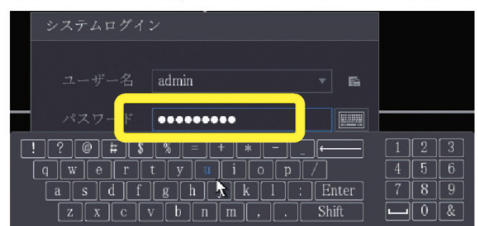


1. 画面操作

レコーダはマウスだけで操作を行います。文字入力にはソフトウェアキーボードを使用します。

(1) マウス操作 基本の操作は右記の通りです。	<table border="1"> <tr> <td>左クリック</td><td>選択、決定</td></tr> <tr> <td>右クリック</td><td>キャンセル</td></tr> </table>	左クリック	選択、決定	右クリック	キャンセル
左クリック	選択、決定				
右クリック	キャンセル				
(2) ソフトウェアキーボード操作 パスワードなど文字入力が必要な場合 パスワード 入力欄にマウスポインターを置き、左クリックするとソフトウェアキーボードが表示されます。	 はスペース、 は1文字消去 				

2. システムへのログイン

(1) システムにログインするには画面上にマウスのポインターを置き、右クリックします。 右のメニューが表示されるので「メインメニュー」をクリックします。	(2) 「システムログイン」のポップアップメニューが表示されます。「ユーザー名」のプルダウンメニューから自分が使用するユーザー名を選択します。 
(3) 「パスワード」にマウスのポインターをあててクリックします。 	ソフトウェアキーボードが表示されるので、マウスを使って「パスワード」を入力します。 注：パスワード入力を規定回数以上間違えると、そのユーザーはロックされます。ロックされたユーザーは30分間、システムログインできなくなります。ロックされた場合は、以下の対応が必要です。 ① 30分間待つて、再度パスワードを入力する ② レコーダを再起動する
(4) パスワードの入力が完了したら、「OK」をクリックします。 	(5) ログインに成功するとメインメニューが表示されます。  メインメニューを消去するには、マウスを右クリックします。

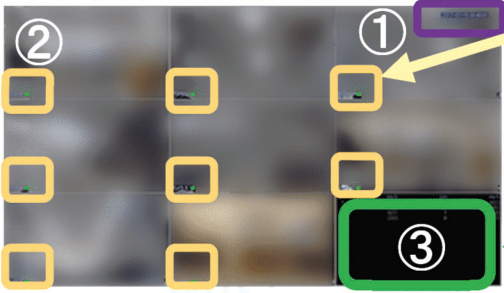
3. ログアウト

(1) メニュー表示 画面上で右クリックを行い、ポップアップメニューの「メインメニュー」をクリックします。 画面右上のアイコンをクリックして下さい。	
(2) シャットダウンメニュー 以下の画面が表示されるので、必要な動作を実施します。 	① ログアウト 現在のユーザーからログアウトします。 ② 再起動 機器が再起動します。 ※シャットダウン/再起動はアイコンクリック直後に実行されます。 ※10分以上無操作の場合、自動でログアウトします。 ③ シャットダウン 機器の電源を停止します。

4. ライブ映像確認

(1) 画面説明

ログインすると、ライブ映像が表示されます。



② ログインすると、ライブ映像が表示されます。

① 画面右上にレコーダの時刻が表示されます。

③ 最大接続チャンネルよりも分割表示の方が多い場合（8ch レコーダの 9 分割表示、32ch レコーダの 36 分割表示など）は、余ったチャンネルに、各チャンネルの使用帯域が表示されます。

①画面右上にレコーダの時刻が表示されます。

②各カメラ画面の左下に「カメラ名」とアイコンが表示されます。

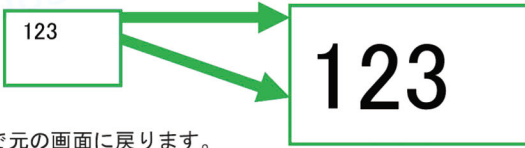
- 映像データを記録している時に表示されます
- 動きを検知した時に表示されます
- CVI カメラからの入力がない時に表示されます
- カメラにロックがかかっている時に表示されます

③最大接続チャンネルよりも分割表示の方が多い場合（8ch レコーダの 9 分割表示、32ch レコーダの 36 分割表示など）は、余ったチャンネルに、各チャンネルの使用帯域が表示されます。

(2) デジタルズーム

各チャンネルの上部にカーソルを移動すると、プレビュー表示画面が表示されます（）。 ボタンをクリックし、ボタンの表示が  に変わることを確認。拡大したい場所でマウスをドラッグすると 緑色の選択枠が表示されます。

画面をドラッグすると表示される枠の大きさを調整し、所望の選択枠になった時点でドラッグを停止すると、緑色の枠内がデジタルズームされます。



右クリックで元の画面に戻ります。

(3) 画面表示切替

画面上で右クリックを行い、「メインメニュー」をクリック。表示させたいビューをクリックします。



ビュー1	1 画表示をします。1ch～64ch から選択します。
ビュー4	4 分割表示をします。1ch～4ch 単位で選択します。
ビュー8	8 分割表示をします。1ch～8ch 単位で選択します。
ビュー9	9 分割表示をします。1ch～9ch 単位で選択します。
ビュー16	16 分割表示をします。1ch～16ch 単位で選択します。
ビュー25	25 分割表示をします。1ch～25ch 単位で選択します。
ビュー36	36 分割表示をします。1ch～36ch 単位で選択します。

(4) PTZ 操作

操作したい画面を表示して右クリックを行い、「メニュー」を表示させ、「パン/フル/ズーム」をクリックします。

※PTZ、モータライズ、電動バリフォーカルのカメラのみ使用可

①PTZ カメラを移動させます。

②移動速度を変更します。

③ズームを実行します。

④フォーカスを変更します。

⑤アイリスを変更します。



5. 映像検索・再生

(1) メニュー表示

画面上で右クリックを行い、ポップアップメニューの「メインメニュー」をクリックします。



(2) 検索画面表示

メインメニューが表示されるので、上段左端の「検索再生」をクリックします。



(3) 検索日付、カメラ指定

「検索」をクリックすると、下の検索画面が表示されます。



検索する日付と、表示するカメラを選択します。



① 検索する年と月を選択します。

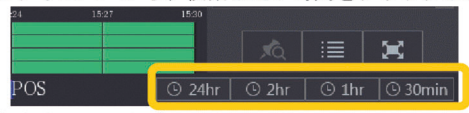
② 検索する日付を選択します。

③ 再生するチャンネルを選択します。選択した順番で再生されます。

④ 再生をメイン/サブストリームで再生するかを選択します。

(4) 時間指定

画面下のタイムバーから、検索したい時間をクリックします。



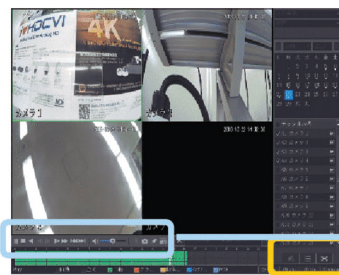
時間を指定すると再生が開始されます。

タイムバーユニットをクリックする事で、タイムバーが表示する時間枠の表示を変更して表示を見やすく変更できます。

24hr=24 時間表示 2hr=2 時間表示

1hr=1 時間表示 30min=30 分表示

(5) 再生画面操作



①全画面ボタンをクリックすると、全画面表示が出来ます。

右クリックで戻ります。

②1画面表示をしたい画像上で、マウスをダブルクリックすると1画面表示が出来ます。

③ライブ映像と同じ手順でデジタルズームが可能です。

④再生制御ボタンの操作は以下の通りです。



一時停止 | 停止 | 逆再生 | 前フレーム | 次フレーム | スロー再生 | 高速再生 | 前日 | 翌日

「高速」 : x2 → x4 → x8 → x16 の4段階の切り替えが可能。

「スロー」 : 1/2 → 1/4 → 1/8 → 1/16 の4段階の切り替えが可能。

「前フレーム」「次フレーム」 : 一時停止状態から1フレームずつ再生。

○再生する日時を変更する場合

「停止」ボタンをクリックし、日時を再指定して下さい。

○検索画面を終了する場合

再生を停止させ、マウスを右クリックして下さい。

6. 記録データバックアップ

(1) USB デバイス画面表示

USBメモリを接続して下さい。
USBメモリを接続すると、
右の画面が表示されるので、
右クリックして画面を
消します。



(2) 検索再生

「5. 映像検索・再生」の手順に
従い、バックアップを行うチャンネル
を1画面表示で再生します。



(3) バックアップ操作①



①バックアップ開始時刻の録画映像を再生し、ビデオクリップをクリックします。クリックした開始時刻が入力されます。



②バックアップ終了時刻の録画映像を再生し、ビデオクリップをクリックします。クリックした終了時刻が入力されます。

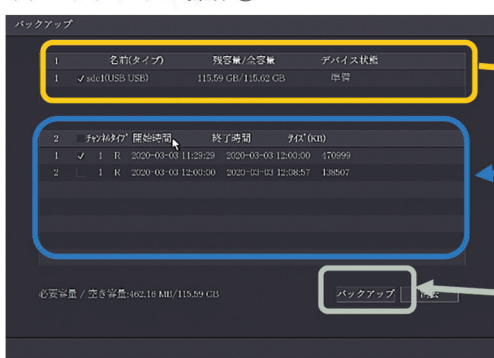


※出力する録画データ量は、1回/1時間程度を推奨。長時間のエクスポートはレコーダの動作を不安定にする場合があります。

③バックアップの時間の設定が完了したら、バックアップをクリックします。



(4) バックアップ操作②



①デバイスIDにUSB DISKが認識され、USBメモリの容量が表示されている事を確認して下さい。

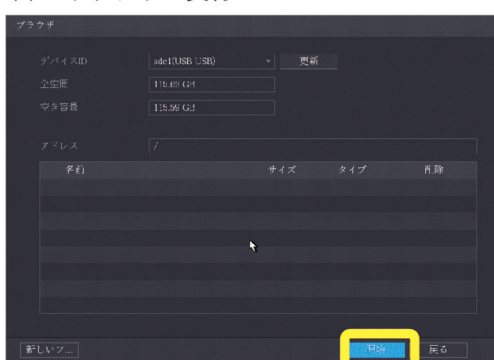
1	名前(タイプ)	残容量/全容量	デバイス状態
1	✓ sdc1(USB USB)	115.59 GB/115.62 GB	準備

②バックアップファイル指定

検索が完了すると、検索条件に一致するデータが表示され、バックアップ対象のデータのチェックボックスに「✓」を入れます。必要な容量および残容量は自動的に計算されます。

③ファイルの選択が完了したら、「バックアップ」ボタンをクリックします。

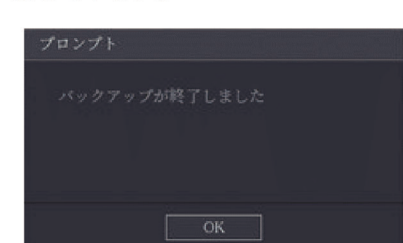
(5) バックアップ実行



「開始」ボタンをクリックすると、バックアップが開始されます。

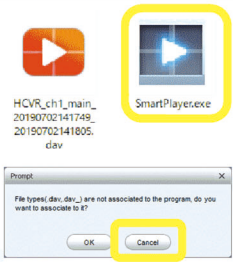
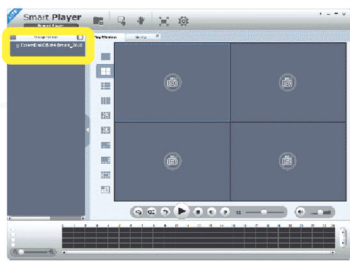
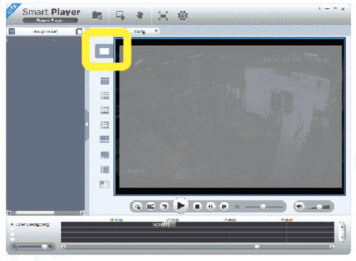
(6) バックアップ終了

バックアップが完了する、終了メッセージが表示されます。クリックして画面を閉じて下さい。



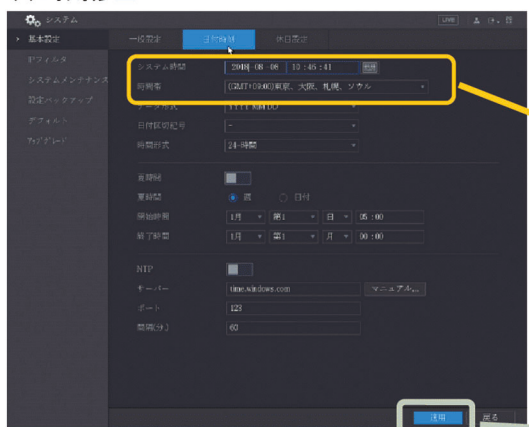
7. 映像データの再生

USB メモリにエクスポートした映像データを再生する手順です。

(1) SmartPalier Lite 起動 PC に USB メモリを挿入し、その中にある SmartPlayer をダブルクリックして下さい。 起動時に右のメッセージが表示されるので「Cancel」をクリック。 	(2) 映像データの再生 SmartPlayer と同じフォルダにある DAV ファイルが左ペインに表示されるので、それをダブルクリックすると再生が始まります。 								
(3) 画面表示変更 画面中央のバーの一番上のアイコンをクリックすると、1 画面で表示されます。 	(4) 映像操作 <table border="0"> <tr> <td>①再生ボタン</td> <td>再生/一時停止</td> </tr> <tr> <td>②時間表示変更</td> <td>黒枠内の時間表示を変更(左:時間、右:分)</td> </tr> <tr> <td>③時間ゲージ</td> <td>映像の再生枠。クリックで再生時間変更</td> </tr> <tr> <td>④再生速度</td> <td>ゲージを左でスロー、右で倍速</td> </tr> </table> 	①再生ボタン	再生/一時停止	②時間表示変更	黒枠内の時間表示を変更(左:時間、右:分)	③時間ゲージ	映像の再生枠。クリックで再生時間変更	④再生速度	ゲージを左でスロー、右で倍速
①再生ボタン	再生/一時停止								
②時間表示変更	黒枠内の時間表示を変更(左:時間、右:分)								
③時間ゲージ	映像の再生枠。クリックで再生時間変更								
④再生速度	ゲージを左でスロー、右で倍速								

8. 時刻修正

レコーダの時刻がズレた場合に時刻を修正する手順です。

(1) メニュー表示 画面上で右クリックを行い、ポップアップメニューの「メインメニュー」をクリックします。 下段のメニューから「システム情報」をクリックします。 	(2) 日付メニューの表示 ①「基本設定」をクリックします。 ②「日付時刻」タブをクリックします。 
(3) 時刻修正 	①「日付時刻」タブメニューのシステム時刻の入力欄の修正したい項目に、マウスのポインターをあてクリックします。 ソフトウェアキーボードが表示されるので、数字キーをクリックして修正を行います。  ②タイムゾーンが「GMT+09:00」である事を確認し、「保存」をクリックして下さい。 ③「適用」をクリックして下さい。

お問い合わせ